

## 2020年（R2） 平館高校地熱探検隊

### 1. 目的

地元高校生が、本市の資源（宝）である地熱や地熱活用産業を知り学び、地域の良さや特色に気付くことで、持続可能なまちづくりを次世代へ引き継いでいく機運を高めることを目的とします。

### 2. 実施概要

- (1) 日時 令和2年9月10日（木）9：00～15：30（予定）
- (2) 対象 県立平館高等学校 2年生42名（教諭6名、市職員が帯同）
- (3) 班編成 午前の部：3班、午後の部：2班
- (4) バス 市公用バス 33人乗り×2台
- (5) 見学地
  - ①松川地熱発電所
  - ②(株)八幡平温泉開発
  - ③八幡平スマートファーム（高石野団地）

#### (6) 行程

時刻	内容			備考
<b>9：00</b>	平館高校 出発			バス1号車（1班・2班） バス2号車（3班）
	1班（14名）	2班（14名）	3班（14名）	
<b>9：40</b>	松川地熱発電所（PR館～造湯～建屋）各20分	松川地熱発電所（造湯～建屋～PR館）各20分	八幡平温泉開発（森の大橋付近～）	
<b>10：45</b>	出発	出発	10：10 出発	
<b>11：00</b>	八幡平温泉開発（森の大橋付近～）	八幡平温泉開発（森の大橋付近～）	10：25 松川地熱発電所（造湯～建屋～PR館）各20分	
<b>11：40</b>	出発	11：40 出発	11：30 出発	
<b>12：10</b>	平館高校 到着（昼食・休憩）			
<b>13：30</b>	平館高校 出発			バス1号車（1班）バス2号車（2班）
<b>13：50</b>	八幡平スマートファーム（高石野団地）			
	1班（21名）	2班（21名）		
<b>14：00</b>	熱水ハウス見学・摘み取り体験	児玉社長講話		
	児玉社長講話	熱水ハウス見学・摘み取り体験		
<b>15：10</b>	出発			
<b>15：30</b>	平館高校 到着			

### 3. 結果

国内初の地熱発電所として 1966 年から運転を続ける松川地熱発電所、同発電所からの熱供給などを事業とする八幡平温泉開発、熱供給を受け IOT 農業でバジルなどを生産する八幡平スマートファーム見学。地熱探検隊への参加がきっかけで八幡平温泉開発に就職した平館同校 OG による事業説明が参加生徒の注目を集めた。

#### ■松川地熱発電所

施設見学



#### ■松地熱発電所

冷却塔の説明を受ける



#### ■八幡平スマートファーム

バジルの摘み取り体験



#### ■八幡平温泉開発

給湯事業の説明を受ける



#### (1) 地熱発電・温泉供給関係 感想抜粋

- 発電所はとてもすごい役割をしていることが分かった。発電所があることで限りない資源で電気を作ることがすごいと思った。
- 自然エネルギーを利用し、CO2 をあまり出さない地球に優しい発電と感じた。けれど開発に 15 年ほどの年月が必要と聞いて驚いた。
- 開発に長期間要するものの、一度設備をつくと長期間使えることが分かった。
- 八幡平市の地形を生かしていてよいと思った。地熱発電は他の発電と異なり、1 年中 24 時間安定して発電できることが分かった。

- 地熱発電所が運転開始されたことで、温泉を主体とした観光産業に踏み切り八幡平市が出来たことを初めて知った。
- 八幡平市の魅力を体感できた。自然を活かした大規模な発電所を知れて良かった。
- 蒸気温度が 200℃もあること、また冷却塔がとても大きく冷却水が落ちるさまが面白かった。
- 初めて行った。発電のための多くの過程や設備があることも、知っていても驚くことが多く、良い機会になった。八幡平の古くからの魅力をもっと深く知れたらいいなと思う。
- 松川地熱発電所により、地熱資源開発が大きく進展したことが学べるとても良い機会だった。
- 地元の資源、すばらしい技術を活用して生活に必要なエネルギーを作りだしていることがすごいと思った。冷却塔の改修前に見学出来て良かった。

## (2) 熱水利用関係 感想抜粋

- 松川地熱発電所、八幡平温泉開発には多くの歴史が詰まっていた。温泉開発の事業内容など様々学べた。
- 温泉開発の経緯、同校 OG の話が聞けて良かった。
- 温泉供給の際のスケール対策が大変だと分かった。
- 別荘や温泉郷があるのは、地熱を利用しているからこそであることを知った。地元について多くを知れてよかった。
- 地熱は熱水利用によって色々な植物に使われていることが分かった。地熱を利用することで 1 年中栽培できるということが分かった。将来はリンドウの他にバジルが有名になると聞いて楽しみです。
- 地熱発電と熱水ハウスが関係していて、地熱が植物にも関わっていて驚きました。もっと八幡平市について知ろうと思った。
- 冬場でも野菜を育てられる環境があることが分かった。
- バジル栽培のプロジェクトが地元資源を使っていて誇りに思った。
- 使われなくなっていた熱水ハウスを再利用して始まったことを初めて知った。最新技術を活用した事業でありすごいと思った。
- 地熱にはこんな使い方もあるのかと驚いた。
- 岩手県の面積と同程度の耕作放棄地があることに驚いた。ハウスで摘み取り体験をしたとき、働いている人がいきいきしているのがいいなと思った。
- 市内の農業従事者は、減っていると感じている。地熱を活用してバジル栽培の発想に至るのは本当にすごい。栽培するだけでなく、その後の販売先まで見据えることが大事と分かった。
- 近くで自分の知らない農業が始まっていることを知った。
- そもそもバジル栽培が行われていることすら知らなかった。バジル摘みや講話を通じて八幡平市にまだまだ知らない事がばかりあるのだと思った。今後、買物に行った際には、野菜など地元商品を見て地元のものを探してみたり、地元に興味を持っていきたいと思った。